

ミニ展示「ノーベル賞 特集」

2019年10月発表のノーベル賞で、リチウムイオン電池を開発した旭化成名誉フェロー・吉野彰氏がノーベル化学賞を受賞。

少年時代に、科学への興味を持つきっかけになった本として紹介された
英国科学者ファラデー（1791-1867）の著書『ロウソクの科学』が話題となりました。

2019/10/10

請求記号	書名	著者名	出版社	出版年
430.4//F15	ロウソクの科学（角川文庫）	Faraday Michael	角川書店	2012.6
430//F15	ロウソクの科学（岩波文庫）	Faraday Michael	岩波書店	2010.9
431.7//Ta95	電池はどこまで軽くなる?: 暮らしを支える電子とイオン	電気化学会	丸善出版	2013.12
508//Sh34//16	電気自動車が一番わかる: ガソリンから電気へ次世代技術を搭載した夢の乗り物（しくみ図解）	石川 憲二	技術評論社	2011.9
508//Sh34//7	電池が一番わかる: 2009年は電気自動車元年: 電池の知識全解説!（しくみ図解）	京極 一樹	技術評論社	2010.1
572.1//Ka45	電池（化学の要点シリーズ）	金村 聖志	共立出版	2013.8
572.1//Y98	電池のしくみ（図解雑学: 絵と文章でわかりやすい!）	ユニゾン	ナツメ社	2004.3
572.12//Ki56	「電池」で負ければ日本は終わる: 新エネルギー革命の時代	岸 宣仁	早川書房	2012.6
572.23//Ko14	イオン液体	高分子学会	共立出版	2012.5